

でがしいでの記憶局-職員室はより-

令和 7年 2月10日



「綺麗な飾りがい~ばい!」 🚉 🕏

雛の吊るし飾り見学に行きました。稲取の文化公園の雛の館にはお雛様やたくさんの吊るし飾りが飾ってありました。

子どもたちは「もも、あったよ」「おかたぐろはどこ?」「確かこの辺にスズメがあったと思ったけど…」とたくさんの飾りの中からお目当ての飾りを見つけるのは至難の業。それでも、じっくりと飾り

古当ての師りを光づりるのは王無の栄。とれても、しつくりと師り を見ながら「可愛いね」「すごいね」とうっとりしていました。幼稚園にも、ひな祭りになる と吊るし飾りを飾ります。稲取の伝統文化を大事にし、後世に繋げていきたいですね。



「はい止きって、手をあげて、右よし、左よし、右よし」

今年度最後の交通安全教室を行いました。道の歩き方、信号の見方など 教えてもらった交通のルールのおさらいをし、公道歩行へ。

年少さんと年中さんがペアになり、年長さんは一人で傘を持って歩きました。

出発する時は「緊張する」「ドキドキする」と言っていた子どもたちでしたが、公道歩行

から戻ってきた顔は自信満々で「疲れたけど…楽しかった!」と話してくれました。 年長さんの傘指導は、持ち方、傘の開き方・閉じ方など、やってみると難しく 「上手くいかないなぁ」言っている子もいましたが、終わる頃には上手に扱うこ とができるようになっていました。





午後からのカルタ大会は、交通ルールのように"ルール"を守りながら取り組んでいる様子がみられました。

交通指導員さんから「ひがしいず幼稚園の子どもたちは、しっかりできていました。」と褒めていただきました。これからも園外保育時やお家の人とのお出かけの時なども交通ルールを守り、事故や怪我のないよう気をつけてください。年長さんは、もうすぐ1年生!小学校へ行っても頑張ってくださいね。

鬼は外!福は内!」自分の中の鬼も追い出した

今年の節分は2月2日でしたが、幼稚園では、3日に1日遅れの豆まきを行いました。豆まきを始める前に、「自分の中に、どんな鬼がいるかな?」と聞いてみると「弱虫鬼」「いじわる鬼」「泣き虫鬼」「もじもじ鬼」「食いしん坊鬼」「片づけられない鬼」などたくさんの鬼がでてきました。

▲ その後、「鬼は外!福は内!」と子どもたちが大きな声で

幼稚園の中にいる見えない鬼を退治していると、怖い効果音とともに鬼が登場!子どもたちは「キャー」と言いながらも豆を拾い、一生懸命豆を投げて鬼を退治しました。優しくなった鬼たちと一緒に踊ったり、お菓子取りをしたり、最後には写真を撮ったり楽しく過ごしました。きっと、自分の中にいた悪い鬼も退治できたことでしょう。さて、どうして豆まきをするのでしょう?季節の変わり目に起こりがちな病気や災害を鬼に見立て、それを追い払う儀式が広まったもので、悪いもの(鬼)を追い払い、良いもの(福)を呼び込むために、節分に豆まきをするそうです。



惠明它…為定明它…樂し日為月

寒い日、園庭や畑に置いたタライには厚い氷が張っていました。氷を見つけた子どもたちは大喜び!氷の上でこまを回

したり、かき氷屋さんを開いたりして遊びました。「よーし、明日 も作るぞ!」と畑にはたくさんのタライやバケツ、カップが並びました。

も作るぞ!」と畑にはたくさんのタライやバケツ、カップが並び これからも、冬ならではの現象を楽しんでいきたいと思います。





